

「奥の細道」

# 羽黒山全国俳句大会

— 選者と山伏と巡る —

出羽三山吟行 —



- 選者
 

今井	聖	「街」	主宰
星野	高士	「玉藻」	主宰
井上	弘美	「汀」	主宰 「泉」同人
小澤	實	「澤」	創刊 主宰
黛 ま	どか	俳人・北里大学客員教授	
佐藤	麻績	「人」	主宰

芭蕉ゆかりの聖地  
出羽三山での  
俳句大会

平成三十年九月二十九日(土)・三十日(日)

【皇紀二六七八年】平成三十年 戊戌(つちのえいぬ)

※講演 高野 ムツオ先生 九月三十日(日) 午前十時半より

# 『奥の細道』羽黒山全国俳句大会

― 選者と山伏と巡る出羽三山吟行 ―

概要◆俳聖松尾芭蕉が出羽三山を訪れ、多くの名句を残した元禄二年。その『奥の細道』の聖地は多くの俳人達に愛され現在に受け継がれています。そして昭和三十一年高浜虚子翁の来山を機に、昭和三十四年から羽黒山全国俳句大会を開催致し、以来六十年目を迎えました。本年は、高野ムツオ先生より御講演を賜り選者に、今井聖先生、星野高士先生、井上弘美先生、小澤實先生、黛まどか先生、佐藤麻績先生方との吟行を楽しみながら、俳句仲間との交流を深めて頂きたい。また、例年行われておりました前夜祭は、羽黒山三神合祭殿再建二百年記念事業の『寂光祝膳』をご賞味いただきながらの交流会となります。

尚、「ふるさとを愛する心」を育んでほしいとの願いから「子どもの部」を併せて開催致します。

### 日程◆

#### 一日目 九月二十九日(土)

午後二時三十分 吟行参加者(いでは文化記念館集合)  
午後三時 吟行出発  
健脚コース 羽黒山石段く爺杉く五重塔く南谷  
山伏の先導で選者と共に羽黒山周辺の自然を巡る吟行  
\*コース内容は、変更の可能性がございます。  
午後五時 羽黒山齋館へ  
午後五時三十分頃 国宝五重塔ライトアップ見学  
(希望者のみ)  
午後六時三十分頃 夕食・交流会(羽黒山精進料理)  
午後九時頃 解散

\*交流会のみ参加者は、いでは文化記念館より午後五時三十分出発のシャトルバスをご利用下さい。

#### 二日目 九月三十日(日)

午前七時 日供祭参列(希望者)  
午前八時 朝食(精進料理)  
午前九時 齋館出発 いでは文化記念館へ  
午前十時 本大会開会 ↓ 開会行事終了後 投句の提出締切  
午前十時三十分 講演 高野ムツオ先生  
午前十一時三十分 記念撮影 ↓ 昼食  
午後十二時四十分 『兼題の部』選評、子どもの部選評 本大会の部選評  
午後二時三十分 表彰式  
午後三時三十分 閉会式

### 《兼題の部 投句要項》

兼題の部◆当季雑詠 未発表句二句一組(何組でも可)  
投句料◆壹千円 (二句一組に付き)  
選者◆今井 聖先生 「街」主宰  
◆星野高士先生 「玉藻」主宰  
◆井上弘美先生 「汀」主宰 「泉」同人  
◆小澤 實先生 「澤」創刊 主宰  
◆黛まどか先生 俳人・北里大学客員教授  
◆佐藤麻績先生 「人」主宰  
締切◆平成三十年八月十五日(水)  
投句先◆『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会事務局  
投句◆応募用紙に必要事項を記入の上、投句料を同封し郵送のこと  
\*類句・二重投句(他の俳句大会、結社誌、雑誌などに発表した句)については、審査の上、入選を取り消す事があります。  
★投句者全員に、句集『南谷』をお送り致します。

### 《本大会 投句要項》

期 日◆平成三十年九月三十日(日) 午前十時開会  
場 所◆いでは文化記念館  
受 付◆午前八時三十分  
投 句◆吟行句・出羽三山当季雑詠(二句一組)  
選 費◆二千元(投句料・昼食)  
者◆今井 聖先生 「街」主宰  
◆星野高士先生 「玉藻」主宰  
◆井上弘美先生 「汀」主宰 「泉」同人  
◆小澤 實先生 「澤」創刊 主宰  
◆黛まどか先生 俳人・北里大学客員教授  
◆佐藤麻績先生 「人」主宰

### 《前夜祭 交流会》

期 日◆平成三十年九月二十九日(土)  
受 付◆午後六時より  
場 所◆羽黒山齋館  
費◆・宿泊の方 八千円  
・日帰りの方 二千元  
交流会◆午後六時半頃  
\*羽黒山三神合祭殿二百年記念事業の、『寂光祝膳』での交流会をお楽しみ下さい。



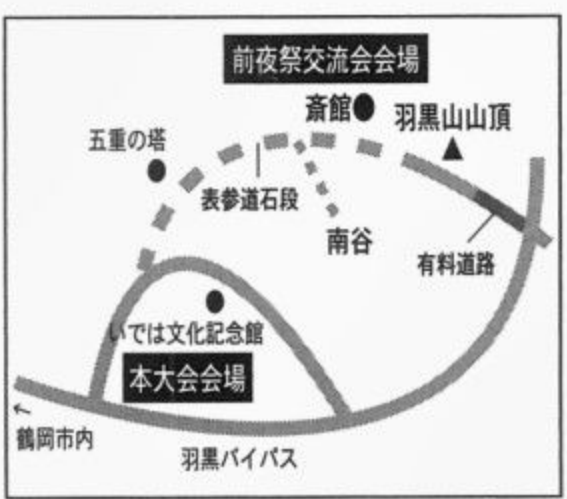
### 《子どもの部 投句要項》

投句締切◆平成三十年七月二十日(金)  
投句料◆無料  
題 材◆身のまわりの事で、見たり聞いたりして自分が感じたこと  
出羽三山や最上川、松尾芭蕉、奥の細道のことなどを  
投句して下さい。  
選者◆井上弘美先生・小澤實先生・黛まどか先生

### 《大会事務局・お問い合わせ先》

第六十回記念大会『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会事務局  
〒九九七-〇二九二 山形県鶴岡市羽黒町手向字手向七番地  
電話〇二三五-六二二三五五 ファックス〇二三五-六二二三五二

- 主 催 第六十回記念大会『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会(出羽三山神社・鶴岡市)
  - 後 援 山形県・鶴岡市教育委員会・羽黒吟社・羽黒町観光協会
  - 協 賛 角川文化振興財団・山形県観光物産協会・庄内たがわ農業協同組合
- 奥の細道観光資源保存会・(株)庄交コーポレーション



第六十回記念大会

「奥の細道」羽黒山全国俳句大会

— 選者と山伏と巡る出羽三山吟行 —

平成30年9月29日(土)・30日(日)

〈コピー可〉

一般の部

(8/15締切)

※読みやすい文字ではっきりとお書き下さい。

〒		住 所	氏 名 (ふりがな)
(電話番号)		( )	( )

※希望を○で囲んで下さい。

9/30(日)	全国俳句大会(本大会)	出 席	9/29(土)	前夜祭交流会	出 席	齋館宿泊希望	29日(土)
		欠 席			欠 席		

句番号	句番号	句番号	句番号	句番号	句番号

◎二句一組 1,000円 (何組でも可)

(きりとり線)

子供の部

(7/20締切)

学校 年

〒	住 所	氏 名 (ふりがな)
(電話番号)	( )	( )

句番号

※読みやすい文字ではっきりとお書き下さい。

〈大会事務局・お問い合わせ・投句先〉

第六十回記念大会「奥の細道」羽黒山全国俳句大会実行委員会事務局

〒九九七-〇二九二 山形県鶴岡市羽黒町手向字手向七番地 電話〇二三五-六一二二三五 FAX〇二三五-六一二二三五

# 選者と山伏と巡る 出羽三山吟行

◆日程 2018年9月29日(土) ~1泊2日

松尾芭蕉が『奥の細道』のたびで訪れた出羽三山。  
高浜虚子の来山を機に「羽黒山全国俳句大会」がはじまり、今年で60回の節目を迎えます。  
これを記念し、選者各氏とともに羽黒山石段と周辺の自然を徒歩で、吟行を楽しんでみませんか。  
皆様、ふるってご参加下さい。

◆集合 9月29日(土) いでは文化記念館 14時30分



今井 聖



星野高士



井上弘美



小澤 實



黛 まどか



佐藤麻績

キ リ ト リ

## 吟行参加申込書

羽黒山健脚コース (どちらかに○を付けて下さい)

吟行と交流会 に参加	2,000円	吟行と交流会 宿泊希望	8,000円
---------------	--------	----------------	--------

ふりがな			性別	生年月日		昭和・平成
参加者氏名	姓	名		年	月	日
ふりがな						
現住所	〒					
日中連絡先	電話		携帯番号			
緊急 連絡先	ふりがな					
	氏名					
	電話番号		携帯番号			
	貴者との続柄					

- \* 交流会終了後帰られる方は、いでは文化記念館迄シャトルバスをご利用下さい。
- \* 宿泊先は斎館ですが、翌日大会に参加する方は、いでは文化記念館迄シャトルバスをご利用下さい。
- \* 申し込み締切は、8月15日(水)迄です。

お問合せ  
申込送付先  
住所

〒997-0292  
山形県鶴岡市羽黒町手向7番地 出羽三山神社内  
「奥の細道」羽黒山全国俳句大会実行委員会  
電話 0235-62-2356 FAX 0235-62-3956

事務局 菅原・高橋・櫻井